

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書（[コンサル](#)）

契約番号：7408

件名	海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託	
履行場所	海老名市河原口三丁目 13 番 1 号	
期間	令和 7 年 6 月 3 日 ～ 令和 8 年 3 月 16 日	
契約の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	2, 035, 000 円（税込）	1, 850, 000 円（税抜）
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（50%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 契約締結にあたっての制限等 ○ 前払金額の制限 契約金額の 15%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。）※前払金の上限金額は 5, 000 万円以下 ○ 業務主任者及び管理技術者の他案件（本市入札案件）との兼任不可 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 （ア）金融機関又は保証事業会社の保証 （イ）公共工事履行保証証券による保証（履行ボンド） （ウ）履行保証保険契約の締結（定額てん補）	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	300 設備設計(建物付帯設備の設計等)	
	発注区分 区分の詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	なし	
	落札数制限	なし	
配置技術者について		本案件に配置する技術者等は、同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		なし	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) ○委託業務主任者等選任届 及び 資格等 及び 3 ヶ月以上の雇用を確認できる書類（雇用確認の書類は、原則として健康保険被保険者証の写し） ※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号（3 箇所）にマスキング(黒塗り)をして提出してください。	

海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託

委託業務仕様書

海老名市

設計業務委託特記事項

1 特記事項の適用

本設計業務委託特記事項(以下「特記事項」という。)で、□印及び■印の付いた項目については、■印の付いた項目を適用する。また、特記事項に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書(国土交通省)」による。

1. 1 委託件名 海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託
1. 2 委託場所 海老名市河原口三丁目13番1号
1. 3 契約期間 令和7年6月3日 ～ 令和8年3月16日
1. 4 委託業務内容

☐ 新築工事 ☐ 改修工事 ☐ 耐震改修工事 ☒ 設備改修工事

☐ その他

ア 設計の概要

有鹿小学校の空調改修工事に係る基本・実施設計及び関連する業務等を行うもの

○建物概要

- ・構造・規模(本館、西館…RC造3階建、東館…S造2階建)
- ・既存空調:ガスヒートポンプエアコンビル用マルチほか

○設計概要

- ・冷暖房設備の更新

上記に伴う建築、電気設備工事

イ 告示第8号の建築物の類型 (第1類第7号)

ウ 予定工事費(税別)

約 125,202 千円

エ 工事予定工期

令和8年6月 ～ 令和8年12月 まで

1. 5 設計図書の提出期限

基本設計成果品 令和7年8月29日 (注)業務施行計画書は契約後速やかに提出すること

実施設計成果品 令和8年3月9日

※ 上記期限に提出し、市監督員の確認を受けること。

また、修正が生じた場合は、契約期間内に速やかに是正し完成すること。

2 業務の内容

設計業務の内容は、下表のⅠ～Ⅲに掲げる業務内容とする。

なお、作成図面の内訳及び縮尺は別表2の図面内訳を標準とし、その詳細は業務着手時に監督員と協議しなければならない。

Ⅰ 基本設計に関する業務

	項目		適用	備考
(1)	設計条件等の整理	① 発注者の要求等の確認	■	
		② 設計条件の変更等の場合の協議	■	
(2)	法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合わせ	① 法令上の諸条件の調査	■	
		② 建築確認申請に係る関係機関との打合わせ	□	
(3)	上下水道、ガス、電力、通信等の供給状況の調査及び関係機関との打合せ		■	
(4)	基本設計方針の策定	① 総合検討	■	
		② 基本設計方針の策定と監督員への説明	■	
(5)	基本設計図書の作成		■	
(6)	概算工事費の検討		■	
(7)	基本設計内容の監督員への説明等		■	

Ⅱ 実施設計に関する業務

	項目		適用	備考
(1)	要求等の確認	① 発注者の要求等の確認	■	
		② 設計条件の変更等の場合の協議	■	
(2)	法令上の諸条件の調査及び関係機関との打合わせ	① 法令上の諸条件の調査	■	
		② 建築確認申請に係る関係機関との打合わせ	□	
(3)	実施設計方針の策定	① 総合検討	■	
		② 実施設計のための基本事項の確定	■	
		③ 実施設計方針の策定と監督員への説明	■	
(4)	実施設計図書の作成	① 実施設計図書の作成	■	
		② 建築確認申請図書の作成	□	
(5)	概算工事費の検討		□	
(6)	実施設計内容の監督員への説明等		■	

※設計意図伝達業務は本業務に含まない。

Ⅲ 追加業務に関する事項

	項目		適用	備考
(1)	積算業務	拾い書、代価、見積等の積算根拠資料並びにRIBC入力データ	■	・単価入替業務含む ・概算工事費算出書(基本設計)、工事費内訳書(実施設計)共にRIBCデータを作成すること。

3 適用基準等

受託者は、次に示す基準等に基づき設計業務を実施するものとし、これ以外の基準等を適用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を得なければならない。

建築工事設計図書作成基準
公共建築工事標準仕様書（建築工事編/電気設備工事編/機械設備工事編）
公共建築改修工事標準仕様書（同上）
建築工事標準詳細図
電気設備工事標準図/機械設備工事標準図
建築設備工事設計基準・要領
建築・電気設備・機械設備工事監理指針
建築改修工事監理指針
公共建築数量積算基準
公共建築設備数量算出基準
公共建築工事積算基準
公共建築工事標準単価積算基準

4 成果物等及び提出部数

設計業務の成果物等及び提出部数は別表1による。

5 特記事項

- (1) 本委託業務仕様書のほか、別添「海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託方針」をふまえ業務を行うこと。
- (2) 業務の円滑な推進を前提に、常に密接な連絡を取り、定められた期間内に業務を完了すること。
- (3) 設計期間中の設計図書内容の見直し・修正等については、業務内の範囲とする。
- (4) 業務の遂行上必要な資料で、市側が所有するものは原則貸与し、業務完了と同時に返却すること。
- (5) 業務の遂行上知り得た情報については、守秘義務を厳守することは基より、公共事業という認識と責務を果たすこと。
- (6) 事業所管課との調整は、原則として市監督員が行うものとし、必要に応じて市監督員の要請により受託者も同席するものとする。
- (7) その他詳細及び疑義が生じた場合は協議による。
- (8) 各成果図書及び書類については、事前に市監督員の承諾を受けること。
- (9) 成果品は全て発注者の所有とし、発注者の承諾を受けずに他に公表、貸与または使用してはならない。（入札用設計図面には、受注者名を記載しないこと。）
- (10) 現地調査に際しての一切の費用は契約内に含むものとする。（調査時期については、施設管理者と協議の上、決定するものとする。）
- (11) 第1回打ち合わせ時に業務施行計画書（実施方針、業務工程表を含む）を提出すること。また、やむを得ず業務の一部を他社の協力を受ける場合には、業務委託協力会社承諾願を提出し、承諾を得ること。
- (12) 本市では海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「契約事業環境配慮マニュアル」の適用となっている。よって、本委託は、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる事項について環境配慮を行うこと。
- (13) 本市で策定している海老名市設備機器等導入指針及び同マニュアルに基づき、設備機器等の選定を行うこと。
- (14) 本設計の実施にあたり建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。
- (15) 官公署手続きは、全て業者の責任と負担に於いて行うこと。

別表1 設計成果物納品リスト

No.	成果図書	区分	部数	備 考	適用	紙	電子データ
1	業務施行計画書	基本	1部	設計方針、業務工程表、業務施行体制表	■	■	□
2	設計根拠資料	基本	1部	現地調査書、材料・工法等比較検討書等	■	■	■
3	概算工事費	基本	1部	単価根拠含む	■	■	■
4	概略工程表	基本	1部	機器納期等を考慮したもの	■	■	■
5	工事費内訳書	実施	1式	PDF、RIBC2	■	□	■
6	入札用設計図書	実施	1式	PDF 入札図面、単価抜き内訳	■	□	■
7	縮小版観音綴	実施	2部	全ての設計図面一式(A3判)	■	■	□
8	原図	実施	1式	JWW及びPDF(A1またはA3)	■	□	■
9	設計図書	実施	1式	数量拾い書・見積比較書・代価等一式等	■	■	■
10	官公署手続資料	実施	1式	控えをファイリング	■	■	□
11	パース		1式	※枚数、サイズ等は協議による	□	□	□
12	打合せ資料		1式		■	■	■
13	議事録		1式	その都度及び終了時に一式ファイリング	■	■	■

※ 成果図書の一覧表の内容については、必要に応じて市担当者及び委託業者との協議により変更できるものとする。

※ 成果図書における使用品(ファイル等)については、再資源化の可能なものを使用すること。

※ 電子データの提出は、CD-Rにてウイルスチェックし提出すること。

別表2 「図面内訳(標準)」

設計に係る図面目録について(参考)

下記の表は想定した図面目録であり、監督員との協議のうえ変更できるものとする。

なお、変更した場合であっても契約変更の対象としない。

原則、既存図と改修図は図面を分けて作成すること。

		図 面	標準縮尺	枚数	作成	備 考
機械設備設計図	給排水、衛生、ガス	表紙			□	図面枚数が少ない場合は省略
		図面目録			□	同上
		特記仕様書			□	
		案内図	1/3000		□	
		配置図	1/600(500)		□	
		各階配管平面図	1/100(200)		□	
		便所、ポンプ室、機械室平面図、断面詳細図	1/20(30、50)		□	
		系統図	1/20(30、50)		□	
		機械図(高置水槽、副受水槽等)	1/10(20)		□	
		器具取付詳細図	1/20(30、50)		□	
		器具表			□	
		屋外設備図			□	
		その他確認申請に必要な書類			□	
	空調	表紙		1	■	図面枚数が少ない場合は省略
		図面目録		1	■	同上
		特記仕様書		1	■	
		案内図	1/3000	1	■	
		配置図	1/600(500)	1	■	
		機器表		1	■	
		ダクト配管各階平面図	1/100(200)	3	■	
		ダクト配管系統図	1/100(200、No scale)	1	■	
		機械室平面図、断面詳細図	1/20(30、50)		□	
		各階詳細図	1/10(20、30、		□	
		機器類姿図			□	
		自動制御盤平面図、展開、系統、各部結線図		3	■	
		屋外設備図		1	■	
		その他確認申請に必要な書類			□	

注: 詳細については、上記表を標準に監督員と協議する。

		図 面	標準縮尺	枚数	作成	備 考
建築設計図	意匠	表紙			☐	
		図面目録			☐	図面枚数が少ない場合は表紙と兼ねる
		特記仕様書			☐	
		案内図	1/3000		☐	
		敷地求積図			☐	
		配置図	1/600(500)		☐	案内図と組み合わせることができる。
		面積表			☐	
		仕上げ表			☐	
		平面図(各階)	1/100(200)		☐	
		立面図(各面)	1/100(200)		☐	
		断面図	1/100(200)		☐	
		矩計図	1/20(30)		☐	
		詳細図	1/20(30)		☐	必要に応じ1/2、1/3、1/5、1/10又は1/50を用いることができる。
		(平面詳細図)			☐	
		(断面詳細図)			☐	
		(部分詳細図)			☐	
		展開図	1/50(100)		☐	
		天井伏図	1/100(200)	3	☒	
		建具キープラン	1/200		☐	
		建具表	1/50(100)		☐	
		工作物等詳細図			☐	配置図と組み合わせることができる。
		外構平面図	1/200		☐	必要に応じ1/300、1/500又は1/600を用いることができる。
		外構詳細図	1/20(30,50)		☐	
		植栽図			☐	配置図と組み合わせることができる。
		仮設計画図			☐	
		その他確認申請に必要な書類			☐	

注：詳細については、上記表を標準に監督員と協議する。

		図 面	標準縮尺	枚数	作成	備 考
電 気 設 備 設 計 図	電 気	表紙			☐	図面枚数が少ない場合は省略
		図面目録			☐	同上
		特記仕様書			☐	
		案内図	1/3000		☐	
		配置図	1/600(500)		☐	
		受変電設備図	1/20(30、50)		☐	
		(結線図、機器配置図、側面図)			☐	
		自家発電設備図	1/20(30、50)		☐	
		(結線図、機器配置図、側面図)			☐	
		蓄電池設備図	1/20(30、50)		☐	
		(結線図、機器配置図、側面図)			☐	
		幹線図、系統図	1/100(200)		☐	
		電灯設備配線図	1/100(200)		☐	
		照明器具姿図			☐	
		分電盤回路図・姿図(結線図含む)			☐	
		動力設備配線図	1/100(200)	3	☒	
		分電盤、制御盤、操作盤、回路図・姿図			☐	
		弱電設備配線図(拡声、時刻表示、	1/100(200)		☐	
		弱電設備系統図			☐	
		火災報知器設備図、	1/100(200)		☐	
		配線図・系統図			☐	
		電話・情報通信設備配管図・系統図			☐	
		避雷針設備図	1/100(200)		☐	図面枚数が少ない場合は省略
		屋外設備図			☐	
		その他確認申請に必要な書類			☐	
	電 話 ・ 情 報 通 信	表紙			☐	
		図面目録			☐	同上
		特記仕様書			☐	
		案内図	1/3000		☐	
		配置図	1/600(500)		☐	
		機器仕様表			☐	
		機器配置図	1/30		☐	
		MDF収容図			☐	
		ケーブル系統図			☐	
		構内配線図	1/100(200)		☐	
		(電話・情報通信設備配管図)			☐	
		電話機配置図	1/1(200)		☐	
		線番表			☐	
		屋外設備図			☐	
		その他確認申請に必要な書類			☐	

注：詳細については、上記表を標準に監督員と協議する。

☀ 契約事業に関する環境要素

海老名市の契約事業における環境要素は以下の環境要素一覧表のとおりである。これらの環境要素は、生活環境並びに地球環境の保全及び向上を図るためにかかすことのできないものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(3)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①自動車の排気ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		②公園、屋外体育施設などの砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの施設からの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
		③契約業務実施により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①一般廃棄物
		②産業廃棄物
		③リサイクルできる排出物
3 生活環境	(1)騒音	①業務実施に伴う作業機械の稼動による騒音
		②業務実施に伴う車両走行による騒音
		③公園、競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①業務実施に伴う作業機械の稼動による振動
		②業務実施に伴う車両走行による振動
		③施設の空調機等電気・機械設備の振動
	(3)悪臭	施設等から排出される廃棄物等の悪臭
	(4)人の健康	①公園、競技場等屋外体育施設での健康増進、体力の向上
		②薬剤等の使用による人への影響
		③事業活動によって生じる人への影響
	(5)地域生活環境	①公園、競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境

□ 「計画・実施」時に配慮する事項

8. 工事設計業務委託

作業	配慮事項	環境要素
1	作成する設計書は、可能な限り再生紙の利用に努める。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
2	成果品等の作成は両面印刷等で行い、部数の削減及び紙の使用量の削減に努める。	1-(1)-① 2-(1)-②
3	現地調査にあたっては、作業効率を十分検討しＣＯ２の削減等に向けて車両の使用回数を控えるように検討する。	2-(1)-① 2-(2)-① 3-(1)-② 3-(2)-②
4	業務実施時に電力を使用する際は、節電に努める。	2-(1)-① 2-(2)-③

海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託方針

本方針は、海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託において、技術上の留意事項を定め、もって必要な品質の確保を図ることを目的とする。

1 基本方針

1－1 基本方針

公共建築の性格を理解し、品位ある機能的な施設とする。また、長期的な視野のもと、施設の性格や地域性に応じた多様性、柔軟性の高いものであるとともに、良好で健全な環境の形成や文化の創造に寄与するものとする。

1－2 外部環境への配慮

施設の目的、用途、規模及び立地条件等を十分把握し、その趣旨に沿った計画とするとともに、利用者の利便性を考慮した外部空間の創造及び維持管理の容易さ、使いやすさに配慮する。

1－3 施設利用者への配慮

利用者に対する安全性、操作性等、施設管理に配慮した計画に努める。

1－4 安全な施工への配慮

施工時の安全性、施工性に配慮した計画とする。

1－5 保全・修繕及び経済設計への配慮

施設機能を確保するため、点検、清掃、保守、修繕及び改修等の利便性に配慮した計画とする。また、建築物に係るエネルギー使用の合理化を図るとともに、ライフサイクルコストに対しても配慮する。

2 現地調査・基礎調査

- (1) 基本設計に先立ち、本工事範囲に関わる配管・配線ルートや天井内懐空間、ガス管径、電気容量等の現況把握を行うこと。
また、配管等の既存利用が可能か劣化の程度についても確認する。
- (2) 建築基準法、消防法、省エネ法及びその他関係法令や諸条件については、関係官庁等で事前に調査・確認を行うこと。

3 設計方針

基本設計及び実施設計は、設計業務委託特記事項をもとに行い、併せて、本方針の内容を踏まえ検討すること。

なお、検討事項は協議により変更できるものとする。

3-1 改修計画の立案

- (1) 有鹿小学校の空調設備は、設置後約 15 年が経過し、設備機器の老朽化が進んでいるため、環境改善及び施設利用者への工事負担軽減にも配慮した改修計画を作成する。

- (2) 文部科学省「学校施設環境改善交付金」の補助金を活用する予定である。申請等で必要な書類作成があれば協力すること。

東館は補助金対象外の予定のため、積算等にあたっては監督員の指示によるものとする。

3-2 建築計画

- (1) 改修は小学校を運営しながらの工事を前提とした仮設計画とし、運営中に空調が使用できない期間を発生させない工程とする。

原則、工事により諸室が利用できない期間が生じない計画とすること。

設計方針により利用できない期間が生じる場合は、期間等を市担当者等と協議の上、仮設計画に反映すること。

- (2) 室外機や室内機の設置位置や高さに応じて適切な安全対策を計画する。

室外機基礎等が劣化している場合は必要な補修を計画する。

- (3) 機器や配管点検用に適切な位置へ点検口等を計画する。

- (4) 機器や配管の更新に伴い内外装仕上げ材の影響範囲について、施工内容をふまえて適切に設計に反映すること。

- (5) 内壁及び外壁の建築仕上塗材にアスベスト使用状況を考慮した計画すること。改修内容によって、本委託内で調査が必要な場合は監督員と協議すること。

(校舎全棟：外壁…無、本館：内壁…無、その他校舎棟：内壁…不明)

3-3 設備計画

- (1) 環境に配慮した設備、省エネ対策及びライフサイクルコストを考慮した計画とする。

- (2) 既存設備の稼働状況や負荷等を確認し、建設当初の設計条件との差異を確認した上で適切な改修計画とする。

現状に即した外皮負荷及び内部負荷の条件を洗い出し、熱負荷計算を行い適切な機器能力とすること。

- (3) 負荷の増加等により受変電設備の新設等の必要性を判断し、必要となった場合は本委託内で計画する。

- (4) 制御方法について利用実態等を考慮して、過大な計画とならないものとする。

- (5) 騒音、振動等の公害対策を考慮する。

3-4 使用材料及び機器の選定

- (1) 外部仕上げ材は、耐久性があり維持管理しやすいものを選定し、周囲の景観にも配慮する。
- (2) 内部仕上げ材は、施設の利用状況を把握し、安全性があり維持管理のしやすいものを選定する。
- (3) 設備機器は経済性、保守管理、耐久性及び施工性等を考慮し、比較検討の上、バランスのとれたものとする。

4 基本設計における主な検討内容

(1) 検討項目

改修方法は以下の項目を最低限検討し、改修候補が複数ある場合は比較検討すること。

- ・既存施設調査結果、利用者・施設管理者へのヒアリングを反映した計画検討（室の空調の効き、不具合事項、使い勝手等）
- ・改修方針
（省エネ機器導入、災害対応（BCP 対策）の機器導入（発電機付き室外機等）の可能性の有無など。空調改修に伴い、用途に即した付加機能あればその他提案をすること）
- ・熱源（ガス又は電気）
- ・既存設備（配管配線等）（利用又は更新）
- ・空調方式（ビルマルチまたは個別空調）
- ・空調ゾーニングの見直し必要性の有無
（管理諸室等の系統を個別空調とするなどの検討）

また、制御方式について、制御方法、中央監視制御項目等を利用実態、施設管理者の意向、コスト等を考慮し検討すること。

(2) 比較内容

下記項目等で比較検討を行い、総合的な評価により方式の決定を行うこと。

- ・機器導入費用
- ・年間エネルギー消費量
- ・保守管理費用（保守の必要性）
- ・機器更新費用（配管を再利用した場合の更新含む）
- ・付帯工事費用（建築工事、受変電設備の増設等それぞれの費用を算出）
- ・工事期間及び工事内容による施設運営への影響

(3) 比較検討図の作成

方式を決定するにあたり方式ごとの空調機プロット及び室外機設置箇所を示した図面を作成すること。

(4) 工事工程及び工事期間の検討

施設運営時間及び空調が必要な期間等を考慮し、工事を完了できる工事工程及び工事期間を算出すること。

なお、学習環境に影響が少ないよう、夏休み期間中の工事を前提とすること。

設備機器（空調機器）の納入期間についても、複数のメーカーに確認し工事期間の算出に取り入れ、工事内容や納期等により、夏休み期間中の工事が困難な場合は、冬休みや土日工事、中間期等の空調が使用できない影響を少なくする工程提案をすること。

（５）概算工事費の検討

刊行物や同規模程度の空調改修工事实績等による延べ㎡単価等を用いて、概算工事費を算出する。本改修内容の中で、単価を用いた事例と異なる改修を行う場合は、事前に概算見積を徴収するなどして、その内容を加味した概算工事費とする。

工事時期を見据え、直近の市場価格の動向を考慮したものとする。（資材高騰、労務費上昇等について、関係団体、メーカー等の公表資料やヒアリング等による把握）

（６）基本設計内容の市担当者等への説明等

上記事項を総合検討し、結果を踏まえ基本設計方針を策定し、市担当者、施設管理者等に対して説明すること。説明相手、説明日時等は市担当者が調整し、資料等は市担当者の指示に従い、受注者が用意すること。

説明は設計意図が伝わる資料を用いて行い、使用感や操作性に関する内容は利用者目線に合わせた資料作りとすることを留意すること。

５ 積算業務

（１）適正な設計を行った上で、総合的な観点から工事費の調整を行うこと。

（２）積算は、「海老名市公共建築工事積算要領」に則ったものとする。また、数量拾い書、拾い図等の積算根拠資料については、後でチェックしやすいよう配慮して作成すること。

概算工事費算出書、工事費内訳書共に「営繕積算システム RIBC 2」にて作成すること。

（３）工事費内訳書は「公共建築工事内訳書標準書式」にて作成すること。

（４）見積りや刊行物を使用する際は、「営繕積算システム R I B C 2」の見積比較ファイルにてまとめること。

（５）見積書を採用する場合は法定福利費を内訳明示した様式で徴取すること。

（６）見積もりは３社以上から徴取し、事前に見積項目、見積条件、見積先等を市担当者と協議の上行うものとする。

６ その他

各関係法令・規則等を理解し、法規制は最低限の定めであることを認識して設計すること。

以上

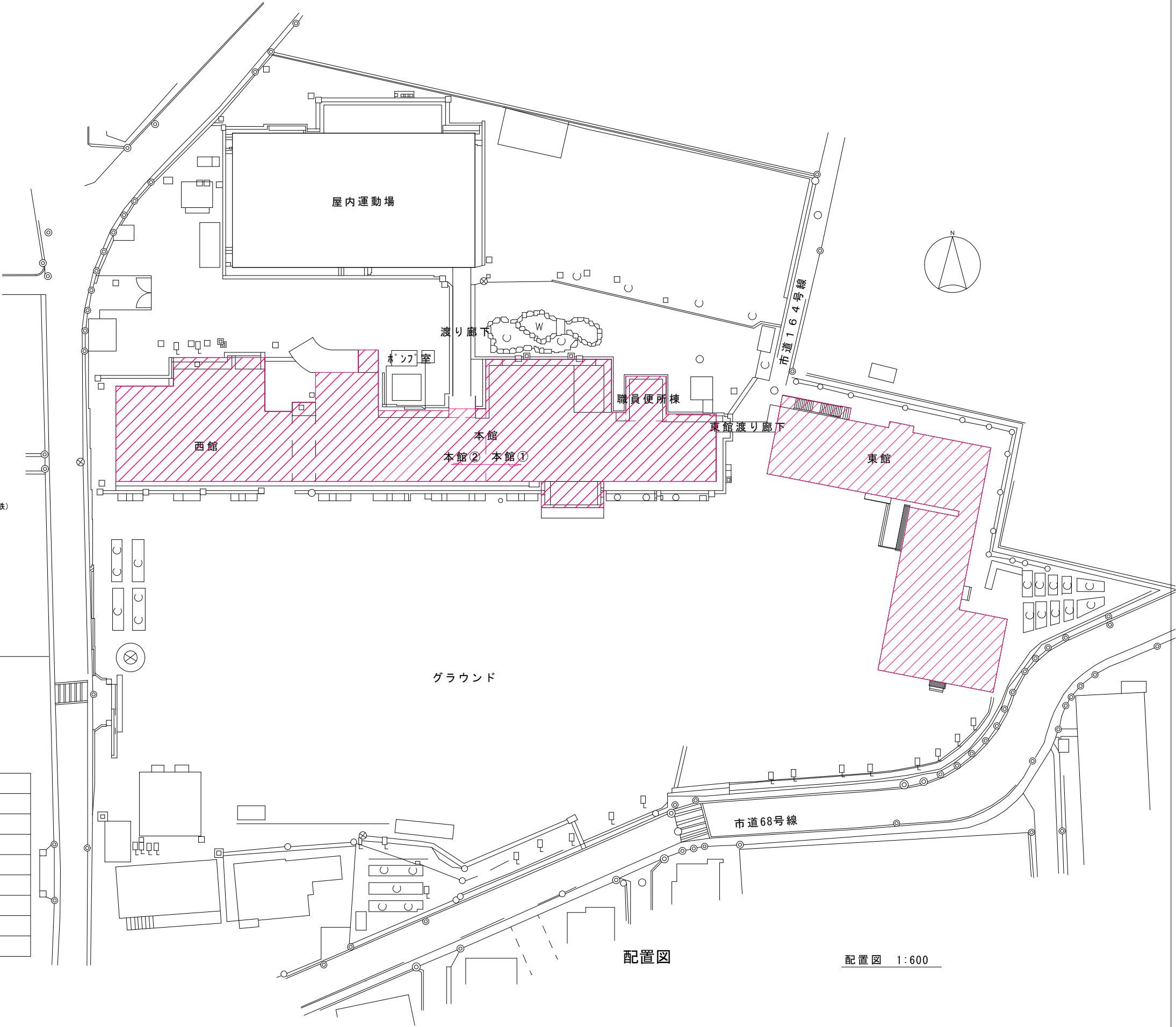
工事場所：有鹿小学校
住所：海老名市河原口三丁目13番1号



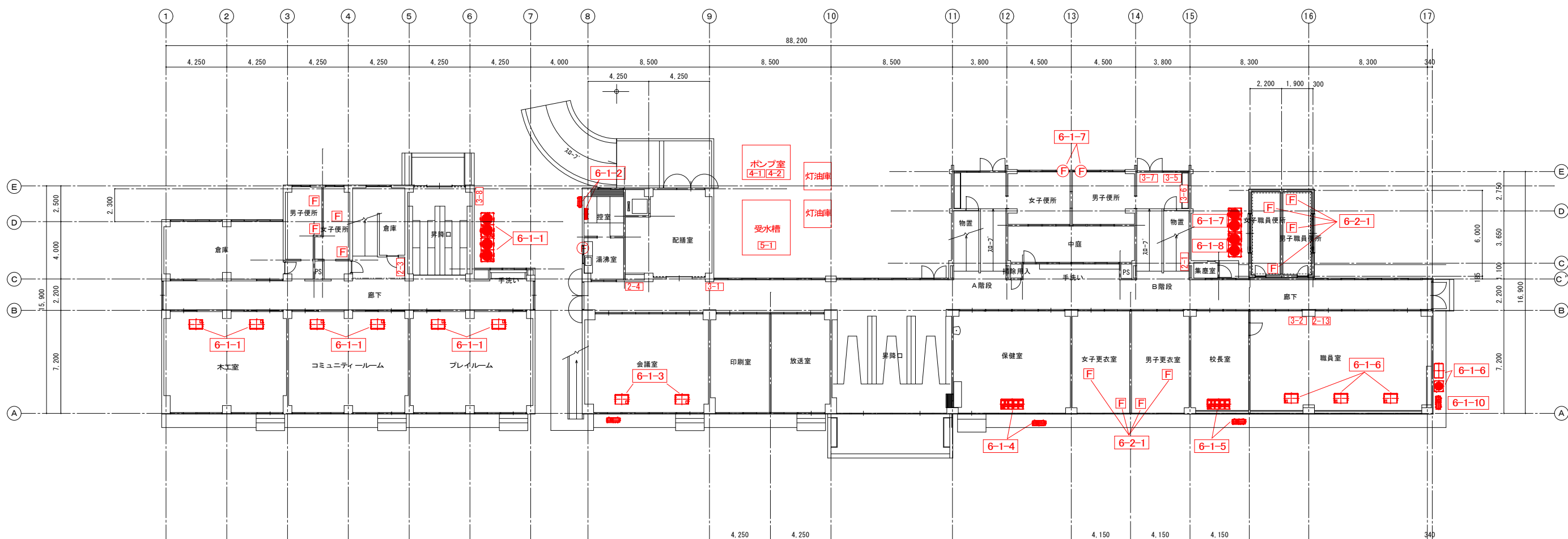
案内図 (NS)

棟名	建築年月	構造	規模	延べ面積	ｱｽﾌﾟﾙ含有の有無
西館	S55	RC造	3階建	1,051	無し/外壁
本館①	S42	RC造	3階建	1,316	無し/外壁
本館②	S50	RC造	3階建	899	無し/外壁
東館	H16	S造	2階建	1,311	無し/外壁
渡り廊下	S57	S・RC造	1階建		無し/外壁
東館渡り廊下	H16				無し/外壁
ホﾞﾝﾌﾟ室	S55	CB造	1階建	8.75	無し/外壁
職員便所棟	S57	RC造	1階建	27	無し/外壁

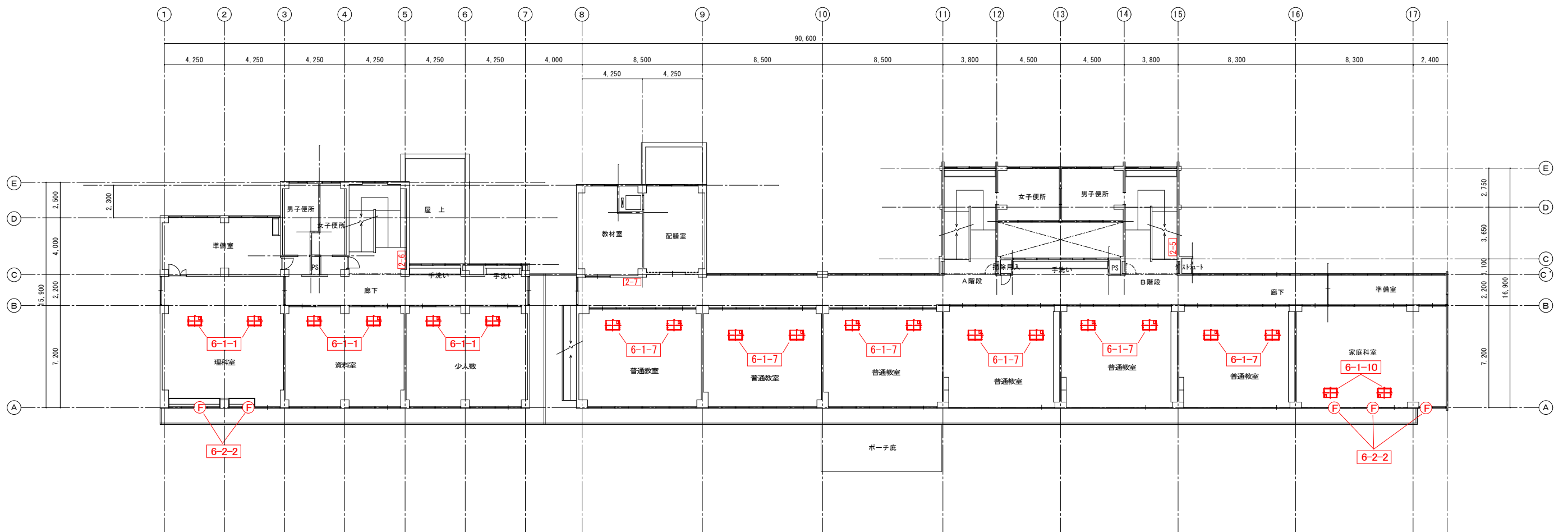
委託対象範囲
・西館、本館（本館①②）、東館



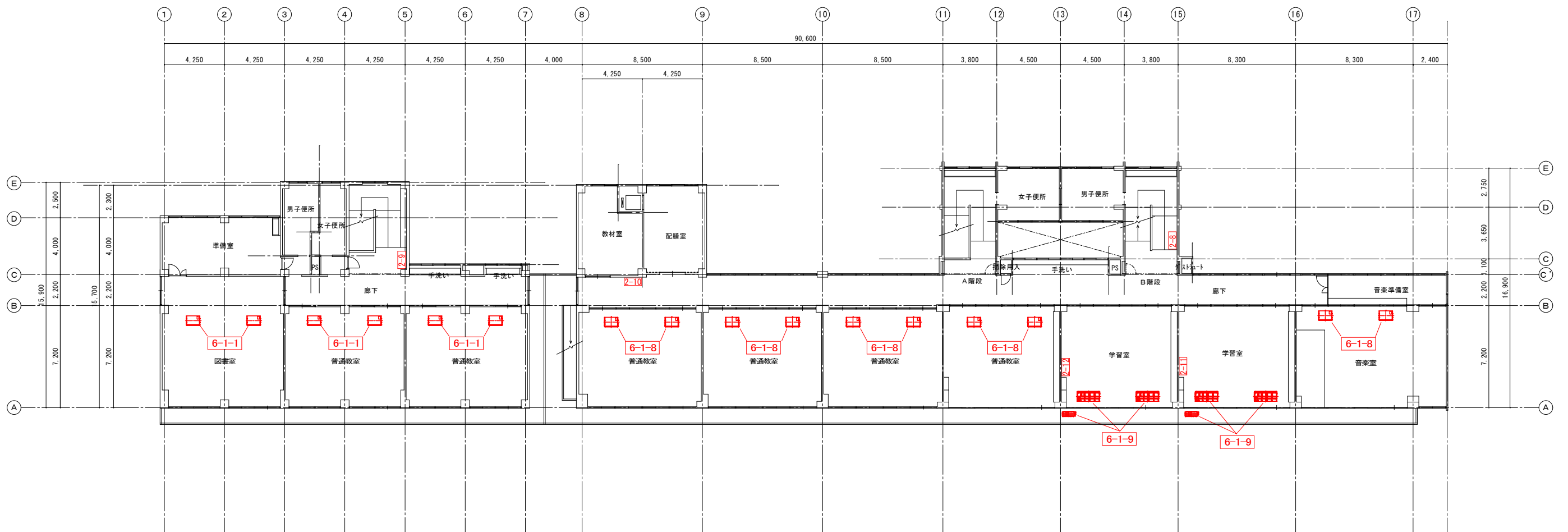
海老名市	現場名 海老名市立有鹿小学校	
	図面名 配置図	図示



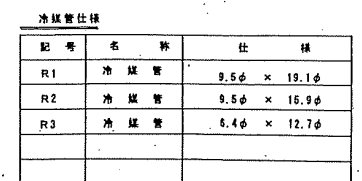
海老名市	現場名 海老名市立有鹿小学校	
	図面名 校舎 1 階平面図	1:300

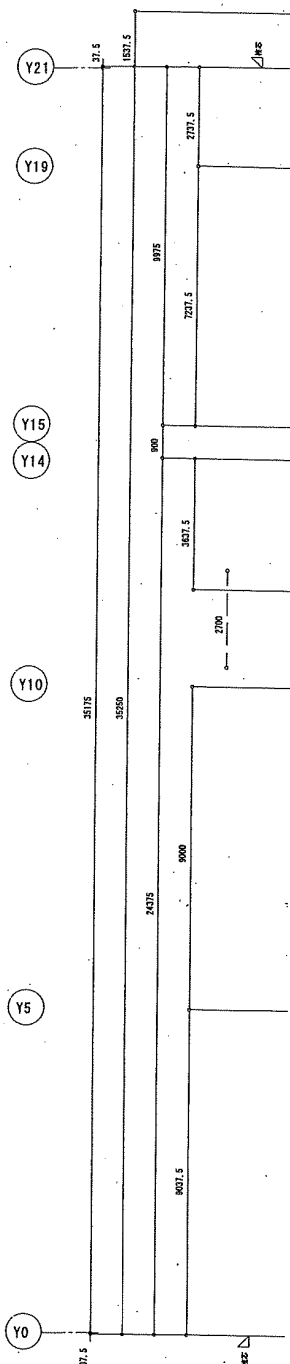
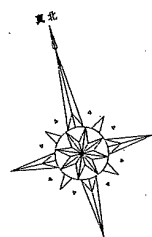


海老名市	現場名 海老名市立有鹿小学校	
	図面名 校舎2階平面図	1:300

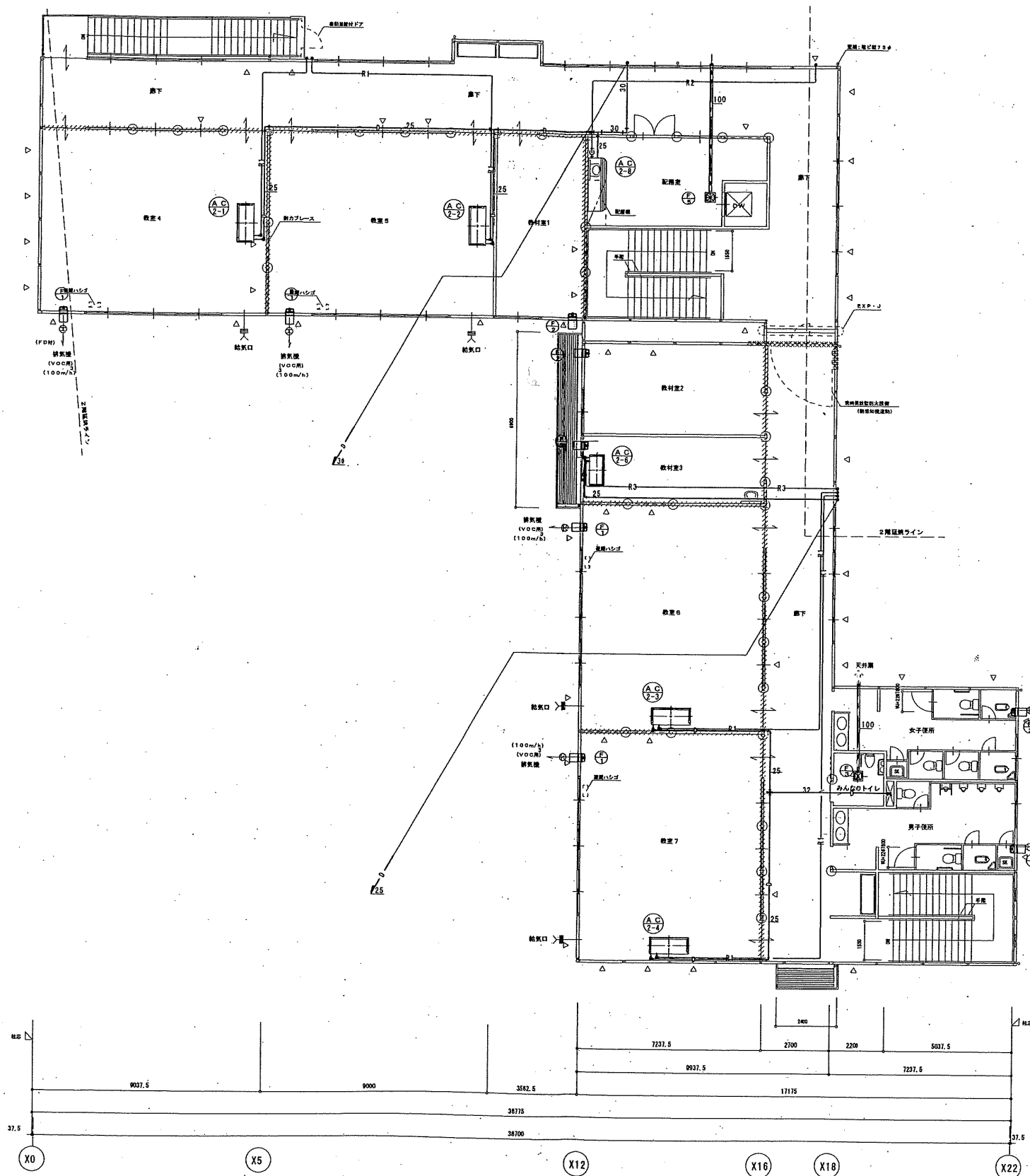


海老名市	現場名 海老名市立有鹿小学校	
	図面名 校舎 3 階平面図	1:300





2階平面図 S=1:100



冷媒管仕様		
記号	名称	仕様
R1	冷媒管	9.5φ × 19.1φ
R2	冷媒管	9.5φ × 15.9φ
R3	冷媒管	6.4φ × 12.7φ

海老名市	現場名 海老名市立有鹿小学校	
	図面名 校舎2階平面図(東館)	1:300

設備リスト

通し番号	分類	設備名	製造年	製造番号	製造メーカー	内部設備	規格・能力	寸法(mm) (横×縦×奥)	備考
6-1-1	空気調和設備	ガスヒートポンプエアコンビル用マルチAC-1	2010	GU DP560AN+GUD P710AN	ダイキン工業株式会社	—	56+71Kw	—	西館系統
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-71N	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw	—	
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-56N	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5.6Kw	—	
6-1-2	空気調和設備	ルームエアコン AC-2	2010	—	ダイキン工業株式会社	—	2.8Kw	—	配膳員室系統
	空気調和設備	室内機	2010	F28LTEV-W	ダイキン工業株式会社	—	壁掛型 2.8Kw	—	
6-1-3	空気調和設備	空冷式エアコン AC-3	2010	—	ダイキン工業株式会社	—	14Kw	—	会議室系統
	空気調和設備	室内機	2010	FHP71AJ	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw x2台	—	
6-1-4	空気調和設備	空冷式エアコン AC-4	2010	—	ダイキン工業株式会社	—	8Kw	—	保健室系統
	空気調和設備	室内機	2010	FHP80AJ	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 8Kw	—	
6-1-5	空気調和設備	空冷式エアコン AC-5	2010	A010076	ダイキン工業株式会社	—	5.6Kw	—	校長室系統
	空気調和設備	室内機	2010	FHP56AJ	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5.6Kw	—	

設備リスト

通し番号	分類	設備名	製造年	製造番号	製造メーカー	内部設備	規格・能力	寸法(mm) (横×縦×奥)	備考
6-1-6	空気調和設備	エコアイズminiマルチエアコン AC-6	2010	—	ダイキン工業株式会社	—	18Kw	—	職員室系統
	空気調和設備	室内機	2010	FXYP56M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5.6Kw	—	
	空気調和設備	室内機	2010	FXYP71M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw	—	
6-1-7	空気調和設備	ガスヒートポンプエアコンビル用マルチ AC-7	2010	GUDP710AN	ダイキン工業株式会社	—	71Kw	—	本館2階系統
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-71M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw	—	
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-56M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5.6Kw	—	
6-1-8	空気調和設備	ガスヒートポンプエアコンビル用マルチ AC-8	2010	GUDP710AN	ダイキン工業株式会社	—	71Kw	—	本館3階系統
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-71M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw	—	
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-56M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5.6Kw	—	
	空気調和設備	室内機	2010	FGXHP-80M	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 8.0Kw	—	
6-1-9	空気調和設備	空冷式エアコン AC-9x2台	2010	—	ダイキン工業株式会社	—	22.4Kw x2台	—	パソコン室1・2系統
	空気調和設備	室内機	2010	FHP112AC	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 11.2Kw x4台	—	

設備リスト

通し番号	分類	設備名	製造年	製造番号	製造メーカー	内部設備	規格・能力	寸法(mm) (横×縦×奥)	備考
6-1-10	空気調和設備	空冷式エアコン AC-10	2010	A010076	ダイキン工業株式会社	—	14Kw	—	家庭科室系統
	空気調和設備	室内機	2010	FHP71AJ	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 7.1Kw	—	
6-1-11	空気調和設備	空冷式エアコン AC-E	2005	RZYP140P	ダイキン工業株式会社	—	14Kw	—	東館系統
	空気調和設備	室内機	2005	FZYP140P	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 14Kw x8台	—	
6-1-12	空気調和設備	空冷式エアコン AC-E12	2005	RZYP112P	ダイキン工業株式会社	—	11.2Kw	—	東館なかよし3系統
	空気調和設備	室内機	2005	FHPY112P	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 11.2Kw	—	
6-1-13	空気調和設備	空冷式エアコン AC-E	2005	RZYP50PT	ダイキン工業株式会社	—	5Kw	—	東館系統
	空気調和設備	室内機	2005	FHYP50P	ダイキン工業株式会社	—	天井吊型 5Kw	—	
6-2-1	空気調和設備	天井扇	2009	—	三菱電機株式会社	—	—	—	
	空気調和設備	天井扇	2005	—	三菱電機株式会社	—	—	—	
6-2-2	空気調和設備	換気扇(壁付)	2009	—	三菱電機株式会社	—	20cm	—	
	空気調和設備	換気扇(壁付)	2005	—	三菱電機株式会社	—	20cm	—	

令和7年度

設計内訳書（単価抜き）

委託件名

海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託

令和7年度

設計内訳書

設計用紙 甲

委 託 件 名	海老名市立有鹿小学校校舎空調改修工事設計委託			
委 託 場 所	海老名市河原口三丁目13番1号			
設 計 金 額	一 金 円 也			
委 託 概 要	有鹿小学校の空調改修工事に係る基本・実施設計及び関連する業務等を行うもの ○建物概要 ・構造・規模(本館、西館…RC造3階建、東館…S造2階建) ・既存空調:ガスヒートポンプエアコンビル用マルチほか ○設計概要 ・冷暖房設備の更新 上記に伴う建築、電気設備工事			
工 期	令和7年6月3日	から	令和8年3月16日	まで
特 記 事 項	別添委託業務仕様書に依ること。			

内 訳 明 細 書

設 計 用 紙 乙

No.	名 称	仕 様	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設 計 委 託 費						
1	直接人件費		1	式			
2	諸経費		1	式			
3	技術料算定経費		1	式			
4	特別経費	RIBC賃借料	1	式			
	小 計						
	消 費 税 相 当 額	10%	1	式			
	合 計						

海 老 名 市